

北川通信

2024年 3月17日

vol. 150

発行 北川かっぱの会
<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

続いています
百五十号!記念号

祝 かっぱ通信は150号を迎えました



報告 北川に2本目の魚道完成！

北川の北山公園善行橋下にある魚道の下流側には、前川合流点までに5箇所の落差工（小さなダム）があり、魚の遡上が極めて困難な状況にあります。北川かっぱの会では、「アユが遡上する北川」を目標に、北川の落差工の解消を訴え続けてきていましたが、このほど東村山市道路河川課は5ヶ所内の1ヶ所、西武西武園線ガード下の落差工について、これを解消し魚道を設置する工事を行いました（写真）。

魚道の設置にあたっては、1本目の魚道（北山公園善行橋下、2005年完成）の設置にあたって設計上の助言や施工の指導等をしていただいた淡水魚類研究家の君塚芳輝さんのサポートをいただきながら、進められました。

新たに設置された魚道は、水量の少ない川でも魚類等が遡上できるように、川の流れの中心部を低くすること（次ページへ）

(魚道の横断断面をV(U)字状にすること)、遡上する魚類が遡上しやすいように大きめの玉石と窪み(玉石の下流側)を流路に設置していくこと、布製の型枠工としていくことなど、善行橋下の魚道に似た内容となっています。しかし、善行橋下の魚道の流れ方向の勾配(縦断勾配)は1/10でしたが、今回の設計は1/20となっており、



このポケットで魚がひと休みするという

魚類等がより遡上しやすい勾配となっており、また魚道上の玉石が縦断方向で直線上に並ばないようにするなどの改善が施されています。

この魚道の完成より、北川の生物多様性が改善されることが期待されます。今後は、実際に魚が遡上しているかどうか、どのような魚が遡上しているかなど、魚道設置の効果を検証していく必要があると思われます。

川掃除メンバーの感想

現地の魚道を見て、全員が「いいね！」を連発、出来栄えに満足です。設置により悪くなった変化は、今のところ上流側も下流側も全く無いと思います。

水量が少ないときに、魚道中央部に流れを誘導する魚道上辺外側の傾斜コンクリート叩きも完璧でした。魚道下辺中央部外側の川底が少し挟られている感じでしたが、それは流水による自然の力によるもので、たくさんの小石から成る造形がとてもいい感じでした。

そして何よりも感動したのは、魚道下流から見る上流側の景観です。施工前は、川そのものが落差工により遮断されている感じでしたが、今見る景観は、まさに上流の緑のトンネルに続く一本の川になり、そして空間が広がったことも実感できます。

大小の石が配置された緩やかな傾斜の流れを、くねくねと遡上していく小魚を早く見てみたいものです。

総会を開催します

3月30日(土) 16~18時半

中央公民館：東村山駅東口徒歩2分

総会では 2023 年の活動総括と決算、2024 年度の活動方針と予算などについて討議しますのでどなたもお気軽にご参加ください。なお、議案書

案はかっぱブログに掲載予定ですのでご覧ください。

2024 年の活動方針では、特に以下の事項を中心に検討していく予定です。

- ・北山公園関係
- ・外来生物防除関係
- ・環境学習関係
- ・地域への情報発信他
- ・北川流域関係
- ・環境調査関係
- ・関係機関との連携

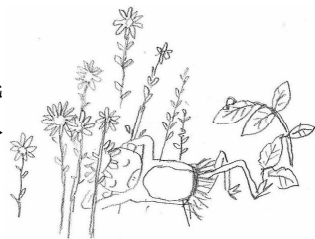


この10年の活動をふりかえって

北川かっぱの会は1995年に創設され、北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活、遊びの遺伝子を未来に継承していくことをめざして活動を行ってきました。会の創設以来、市民とともに北川クリーンアップや北山わんぱく夏まつりなどのイベントを開催するとともに、北山公園内の北川のコンクリート護岸を剥がした自然護岸化や北川の落差工の解消（魚道の設置）などにも取り組んできました。

会の創設以来、定期的に機関誌「かっぱ通信」を発行し、2013年11月には通算100号の発行を達成しました。それから10年が経過しましたが、この10年はどんな10年だったのでしょうか。この10年は、それ以前と比べ、市との連携を図りながらより希少種の保全や外来種対策など生物多様性の保全への取組を強化し、北山いきものクラブや菖蒲まつりでの水族館展示のスタート、いきものマップの発行など、市民に向けた地域の貴重な資源のアピールや遊びの遺伝子を未来に継承していく取組を強化してきました。また、河川環境の改善という点では、2016年の土木学会市民普請大賞準グランプリの受賞や2024年の2本目の魚道の整備、また定例川そうじや水質・魚類調査の着実で継続的な実施など、北川の清流復活に向けて継続して取り組んできました。北山公園では2020年から市民ボランティアによる市民田んぼの取組みが始まり、今後の公園内の水路や湿地などの改善で、より施設の長寿命化や生物多様性に配慮した公園に生まれ変わろうとしています。

以上を踏まえ、今後はこれまでの活動路線を継承していくとともに、北川流域の自然を市民主体で守っていく体制の強化や、活動を担う人材の世代交代を意識した組織運営が強く求められているのではないかと考えます。



かっぱ通信150号までの歩み

北川かっぱの会創設28年。この間のイベントなどを拾いました。

1号(95.6.24)創刊号だよ



4号(95.12)北川クリーンアップ作戦開始

北川クリーンアップ 作戦に市民150名が参加!



「おっ、ここにもゴミが!」

去る10月29日(日)、行政と市民の初ジョイントで、第一回北川クリーンアップ作戦が展開されました。当日は予想を超える約150名もの人が参加し、川掃除は大成功でした。

8号(96.8.1)わんぱく夏祭りスタート



主催：北山わんぱく夏祭り実行委員会
後援：東村山中、東村山市教育委員会、東村山市商工会

連絡先：東村山市建設課 (三島) 0423-93-511
もしくは 事務局 三島 0423-91-2365

23号(99.2) マスコミも注目!動き出した「北川復元プラン」



32号(00年.8)北山公園の川づくり検討会(川端会議)はじまる



53号(04年.4月)北山公園親水広場
オープン、市民功労賞受賞



56号(04.12)北川親水化工事第2期目
がはじまる(魚道が設置される)



64号(06.7)ヤゴ救出作戦始まる
小学校の土曜講座支援が定期化



87号(11.2.12)「水と緑の掲示版」をス
タート



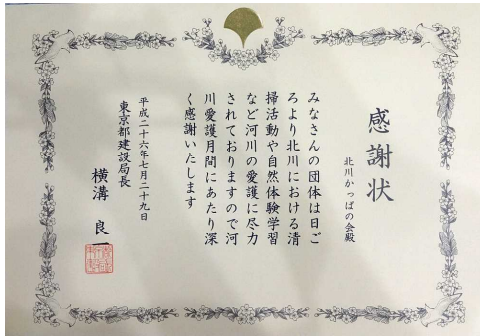
86号(10.12)たっちゃん池の魚類等調査と清掃
を実施

29号(00.2.1)北川源流
から海に向かって歩き出
した「かっぱ団」





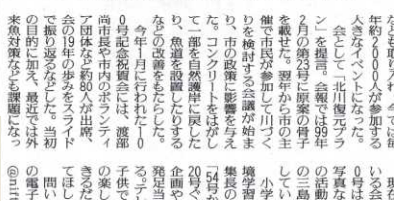
98号(13.4)アカミミガメの駆除作戦がはじまる



104号(14年.10月)東京都建設局長より感謝状をいただく



東村山・北川の環境改善グループ



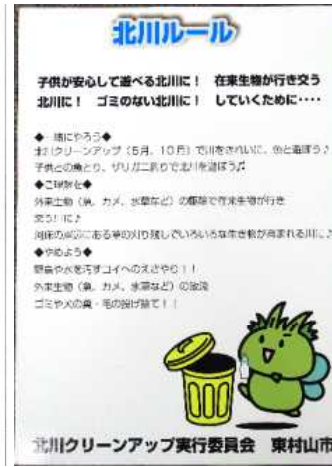
自然護岸復元など成果



102号 東京、読売新聞で紹介される。

115号(16.12)土木学会市民普請大賞で準グランプリ

結成19年会報100号



106号(15.2)北川ルール、川端会議で策定される



122号(18.4)しょうちゃん池のかいぼりを実施



112号(16.4)いきものマップを発刊 新聞でも紹介される



117号(17.4)北山いきものクラブスタート

150号 発行記念 アンケートから

問1.北川かつぱの会の活動で思い出、印象に残っていること ●一番の思い出は、2015年の夏、娘達と参加したカヌーキャンプ。会員でなかったのに、かつぱの皆さんは私達をあたたく迎えてくれた。カヌーも教えてもらい、晩ご飯も一緒に食べ、あの一晩で入会が決まったようなものです。 ヤゴ救出大作戦で、持ち帰ったヤゴを羽化させたときのトンボの美しさ、野鳥観察の鳥の可愛さなどが心に残っています。 若い皆さんに会に入って、活躍してほしいなあ！(ふじみ) ●土曜講座、いきものクラブなどで子供たちが生き物と触れ合っていて楽しそうにしていること ●土曜講座のヤゴいかだ作りで、秋なのにあまりの暑さにプールに服のまま浸かってしまう子供たちが続出。その場を見た先生たちも笑ってました。みんなずぶ濡れで家に帰りました。 問2.これからの活動への期待、課題、できなかったこと。 ●市民が楽しみながら参加していく里川、里山づくりが続いていくことを期待したい(ベジタス) ●生き物好きな子供たちを増やすこと。子供たちに自然のすばらしさを知ってもらうこと。東村山の自然を守る若い世代を育てること。 問3.組織活性化へのアイデア、これからの活動に対する期待など何でも ●会員募集で、生き物クラブ等に来場くださった方、老若男女にアンケートをお願いする。例えば、昆虫のこと、魚のことを知りたい、具体的に採集したいのか、生態を知りたいのか等に答えてもらう。生態等については、学習費の予算をを計上しているので外部から講師を招く方法もあります。



123号(18.7)「菖蒲まつり」で
かつばのブース展開



126号(19.12)学校田がなくなる
→2020年市民たんぼに継承



24号(18.10)北山公園でアライグ
マ捕まり、外来種問題が鮮明に



134号(20.10)



127号(19.4)「東村山の
方言のなかのいきもの
たち」連載スタート

報告「生物多様性東村山戦略の
策定について(提言)」をまとめる
北川かつばの会では、このほど「生物多様性東村山戦略(以下、戦略)
の策定について(提言)」をまとめました。これは、近年の生物多様性を



150号(24.3)北川に2本目
の魚道完成!

128号(19.7)

報告北山小・総合学習で北川をテーマに支援

小学校の4年生の総合学習に
かつばの会で支援しました。

ことの発端は、同校で行っていた米
やサツマイモの栽培の学習ができな
くなったため、新たなテーマとして
北川を学習することになったからで



ナラ枯れ

最近、八国山は大変なことになっています。あちこちの園路が封鎖され、歩けるコースが少なくなっていました。林の中に入るとたくさんの樹木が枯れています。これらの樹木が倒れたり、枝が落下したり危険が多く、通行が制限されることとなりました。

なぜこんなことになったのでしょうか。枯れている樹木の多くはコナラやクヌギといったナラ類の大径木で、わずか5ミリ程のカシノナガキクイムシ（通称カシナガ）がナラ菌を持ち込むことによって起こった伝染病なんです。この現象は「ナラ枯れ」と言われ、全国で猛威を振るっています。

健全なナラはカシナガ飛来すると、集合フェロモンによって集中攻撃を受け、持ち込まれたナラ菌が樹木内部に蔓延し、細胞が死に通水できなくなり8月頃から葉が変色して枯死します。直径10cm以上の樹木で繁殖効率が良いため、高齢のナラ林で被害が激しくなりますが、かつての雑木林は20年前後で伐採されていたため、カシノナの繁殖はほとんど見られませんでした。ひとたび蔓延すると防除は困難で、被害が拡大しやすい大径木の伐採による若返り、被害を受けない樹種への転換などが有効と考えられています。

ナラ枯れは、雑木林が利用されなくなったことで生態系のバランスが崩れたことの現われと言えるでしょう。（ビー永島）。

報告 野鳥観察会

1月27日土曜日、北山小学校の土曜講座「野鳥観察会」が行われました。穏やかな天気にも恵まれ、小学生5人と保護者の皆さんが参加しました。かっぱの会の野鳥観察会も兼ねていて、かっぱの会員は10名の大人が参加しました。今回は、北山公園と八国山をまわり、20種類ほどの野鳥を観察できました。定番のシジュウカラ、エナガ、ハクセキレイ、キセキレイ、モズなどに加えて、シメやイカルを見られたのも収穫でした。

子ども達は、自分の双眼鏡で野鳥を見たり、フィールドスコープで鳥のアップの顔を見て、「可愛い！」と呟いたり…と楽しそうでした。

北山公園では珍しく、トンビも飛んでいましたが、カラスに追われてい



カシノナガキクイムシ

出典：森林総合研究所



たのが印象的でした。野鳥の先生によると、カラスは自分より強いオオタカを追うこともあるらしいです。危機意識が強いのか、気が強いのか…？鳥にも性格があるのでしょうか。たくさんの興味深い話を聞きながらの観察で、貴重なひとときでした。

私たちの周りにたくさんの野鳥が生きているのを知り、これからも関心を持ち続けてくれると嬉しいです。(藤)

北山公園施設改修の基本設計案について



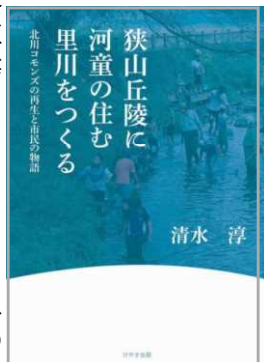
北山公園の施設整備や環境保全策の検討にあたっては、2000年以来、市民団体、市民、市による意見交換会（川端会議；市では北山公園整備計画等意見交換会とよんでいる）が定期的に行われています（最近では年3回開催）。この数年は、北山公園の施設の長寿命化に向けた改修や、生物多様性の保全、子どもが自然の中で遊ぶことのできる公園づくりなどをテーマとした意見交換が行われてきました。去る2月10日の意見交換会では、北川の取水ポンプ等を更新して北山公園内の一部の池や湿地に通年で水のある状態にすること、しょうちゃん池の水際に浅場をつくり水生植物が生育できる環境の整備を行っていくこと、一部の水路について、子どもが水遊びや生きものとのふれあいができる空間としていくことなど、市から意欲的な基本設計案の説明がありました。今後は、来年度に実施設計の内容について意見交換を重ね、再来年度から10年間をかけて公園施設の改修等が行われる予定です。

■本の紹介

けやき出版「狭山丘陵に河童の住む里川をつくる

北川コモンスの再生と市民の物語」 清水 淳著

北川流域で1990年代以降に始まった里川（川や水路、水田、池、湿地など）を復元する運動について、里川を甦らせるために、市民ボランティア主体でどの



ように模索し復元させてきたのか、市民主体で資源の管理を行うコモンズ再生の視点からまとめました。A5版104ページで本体価格1000円＋消費税。けやき出版のホームページやアマゾンなどで購入することができます



2024年3月～6月 活動スケジュール

㊦ はボランティア募集 の略、**㊨** は会員のみの略
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)
または直接会員にお知らせください

かつぱ総会

3/30(土) 16:00～18:30 中央公民館第5集会室 東村山駅東口2分

定例川そうじ **㊦**

毎月第2土曜 9～11時、雨天中止
4/13(土) 集合:北山小正門前

北川いきものクラブ **㊦**

4/13, 5/11(土) 13～15時頃
北山公園善行橋付近で開催。北川や北山公園で捕獲した魚類等の展示と魚とりなど。雨天中止。

北山公園の外来生物用のアミ類の

点検作業 **㊦**

4/13, 5/11(土) 13～14:00頃、北山公園しょうちゃん池集合(小雨決行)
上記の他、不定期の点検作業を実施(かつぱブログを参照)

トウキョウダルマガエル等

生息市民調査 **㊦**

5/11(土) 9～12時開催で調整中 北山公園あずまや集合(小雨決行)
絶滅危惧種のカエルの鳴き声を聞いて、生息個体数を調べます。なお、調査対象や調査方法等について現在調整中

川端会議

5/18(土) 10～12時、市民センター北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

春の北川クリーンアップ **㊦**

5/19(日) 10～12時 北山公園管理事務所前、宅部遺跡橋、または水道橋集合。河川とその周辺の清掃。長靴、手袋など作業ができる服装で。雨天中止。

北川と前川の水質調査 **㊦**

6/2(日) 9～12時開催で調整中 廻田公民館第1集会室集合。

北山小 土曜講座 **㊦**

会員皆さまのご協力をお願いします。

ヤゴ救出作戦

5/25(土) 9～12時頃 校内プール
雨天の場合は翌日に順延

ホタル観察会

6/22(土) 18～20時頃 狭山公園パークセンター集合 雨天中止

第1回わんぱくまつり実行委員会

4/29(祝) 16:00～17:30頃 (サンパルネ3階)、今年のわんぱくまつりの実施基本方針について検討します。

かっぱ定例会

4/13(土)16:00～17:30頃 (サンパルネ3階)、6月頃までの活動について検討します。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 82 円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の

生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園

いきものマップ』

かっぱの会 20 周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

NEW! 『北川・八国山・北山公園

いきものマップ ver2.0』

前記をA4両面サイズにコンパクトにまとめ直したもの。観察会、イベントで無償配布中です。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間 3000 円

支援会員:2年間で 2000 円

学生は2年間で 1000 円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 今年の春も暖かと思っていたら、例年通り寒の戻りがありました。先日、低山ハイキングで行った山にはまさかの雪。といっても桜の開花の例年並み早さ。さて、今号は10年ぶりのまとめの号。会の活動はなかなか活発ですが、このかっぱ通信の編集はマンネリ気味です。新メンバーへの交代必至ですね。(遊星菌車)

●発行:北川かっぱの会
連絡 アドレス

CZT12221@nifty.ne.jp

